



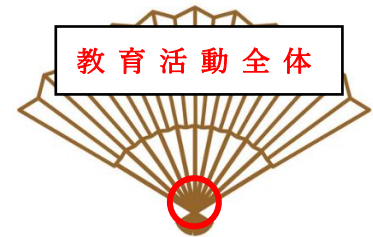
I 本校のミッション

確かな専門的知識と技術・技能を習得させる商業高校として、地域等と連携するとともに、ICT（情報通信技術）化等の社会の変化に対応する力や、確かな勤労観、職業観を育む教育活動を通して、それぞれの専門分野で主体的に活躍し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

II 本校の取組背景

「特別活動」を要として教育活動を考える ⇒ 「なすことで学ぶ」
⇒ 「キャリア教育」

- 社会の変化に対応し、主体的に地域・社会で貢献する人材の育成
- 専門知識と技能を持ち、多様な人々と協働できる人材の育成



要 (特別活動)

- 1 学習指導要領の総則において「生徒（中・高）が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科・科目等（高）の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること」と定めている。学校におけるキャリア教育は学校教育全体で行うという前提のもと、これからの学びや生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなど、教育活動全体の取組をキャリア形成につなげていくための要として、特別活動を位置付けることとなったのである。特別活動を通して、各教科・科目等で学んだことを実生活で活用できるものとしていくことが求められている
- 2 「特別活動」には「集団活動」と「実践的な活動」の2つの特質があり、それらには次のような成果がある。（中央教育審議会答申（平成28年12月））
 - ・生徒が学校生活を送る上での基礎となる力や社会で生きて働く力を育む活動として機能してきた。
 - ・生活集団、学習集団として機能するための基盤が創られている。さらに生徒指導の機能、ガイダンスの機能が、それらを強固なものにすることに寄与している。
 - ・集団への所属感、連帯感を育み、それが学級文化、学校文化の醸成へとつながっている。
- 3 特別活動では、キャリア教育の要として、自分の進路を考えたり、将来の夢やなりたい職業を語り合ったり、「キャリア・パスポート」に記述したりする場面がある。その際、自分の生き方を考え、自分と向き合う（自己内対話をする）ことができる。さらにはそれを他者と共有すること（他者と対話すること）で客観視することができる。いずれも自我同一性（アイデンティティ）の確立や自己実現に関わり、中学生、高校生の思春期の成長・発達にとって重要な営みである。



参考資料

「学校文化を創る 特別活動」 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター

Ⅲ 本校の特別活動（キャリア教育）実践例と特色

1 玉島幼稚園との合同避難訓練 ⇒ 中心行事（校内に限られた環境ではなく、地域とのつながりや若者の力の必要性を考えた環境で実施する）

<令和4年度>

津波を想定して高台に逃げる

事前学習（反転学習） 動画から避難経路をイメージする

映像から危険個所や避難経路を考える

（生徒の声）

- ・道が狭く、古い家屋が多い → 地震で倒壊するのでは・・・
- ・海の方に逃げて大丈夫？ → 時間がかかれば津波がやってくる
⇒この避難経路って本当に大丈夫？
- ・自分たちは平気でも、幼稚園児には高台の避難は大変である

<令和5年度>

津波を想定して校舎3階に逃げる

（生徒の声）

- ・3階にはトイレがない → どうする？ 携帯のトイレってどこにある？
⇒ この階にないと意味がないのではないか
- ・学校周辺には、独居老人もいる → 自分たちにできることは・・・

*生徒の感性はこちらが想像する以上のものである。このような取組で伸ばすべきだと考える。

2 カリキュラム・マネジメントの考えに発展

各教科・科目との連携

- ・地歴公民科・・・地形から考える玉島地域の特色
- ・家庭科・・・幼稚園との交流
- ・商業科（課題研究）・・・防災を考える など

3 令和5年度 岡山県学校安全推進学校

玉島幼稚園との合同避難訓練をはじめ、日々の立ち番や交通安全運動中の交通指導、日々の生活の安全教育等、先生方や生徒達の活動が認められた。

令和6年1月18日に岡山県学校保健会から表彰された。



<Tea Time>

挿絵は玉島のご当地キャラクター「たまべえ」です。

本校では原画の「たまべえ」を有料で加工してもらい、その「たまべえ」をカレンダーやポストカード、コースターなどに入れて商品開発しています。



4 特別活動で留意すべきポイントと本校の実践

①「ホームルーム活動」・・・教師主体のホームルーム活動になっていないか

→活動の内容によっては、1人1台端末(iPad)を活用して生徒の意見を収集し、進行するなどの工夫をしている

②「生徒会活動」・・・生徒会の一員であることを全生徒が自覚できているか

→委員会活動では各委員会の目標にSDGsを取り入れた活動を行っている
そのことで生徒自身が自分事として取り組んでいる

③「学校行事」・・・「活動あって学びなし」になっていないか

→活動する前には必ず目標を示し、実施後は振り返りを行っている



5 リフレクションシートの活用

「自己評価」「他者評価」「次への見通し」の3つの視点をリフレクションシートに入れ、学期に1度はLHRの中で振り返りを行っている

6 キャリア・パスポートの有効活用

・生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、「主体的に学びに向かう力」を育み、自己実現につながるもの

・教師にとっては、その記述をもとに対話的にかかわることによって、生徒の成長を促し、**系統的な指導**に資するもの

○蓄積・ポートフォリオ

○精選・取捨選択 → 自分の成長を実感できる 例；各学期，学年，学校段階
⇒ つながり大切に！ → 新たな目標 更なる成長

○フィードバック・・・生徒の長期的な変化を見取り、本人に気付かせる貴重な機会
→ 教師がコメントを記入 **キャリア・カウンセリング**

○EdvPathの活用

・**非認知能力**の対話的な変化を数値の変化でとらえる → 教師・生徒の現状指標として扱う

IV 追記

「特別活動」と「総合的な探究の時間」の関係性

○「特別活動」 目標の本質は「**実践**」

- ・話し合って決めたことを実践すること
- ・学んだことを学校や家庭など日常の中にある現実の問題を解決すること

○「総合的な探究の時間」 目標の本質は「**探究**」

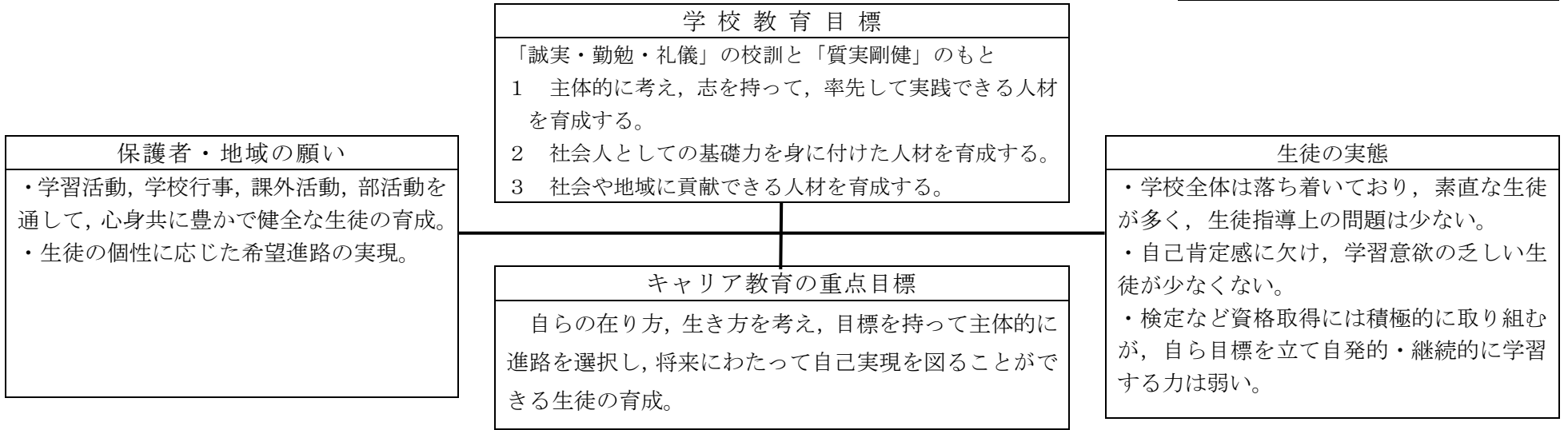
- ・一つの疑問が解決されることにより生じる新たな疑問に向かう物事の本質を探って見極めること

○共通点

- ・各教科・科目で身に付けた資質・能力を総合的に活用したり発揮したりすること
- ・現実の課題解決に取り組むこと
- ・体験的な学習を重視すること
- ・協働的な学習を重視すること
- ・自己の生き方についての考えを深めること

キャリア教育全体計画（令和5年度）

学校名 岡山県立玉島商業高等学校



育成したい力			
人間形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
他者の個性を理解する力, コミュニケーション・スキル, リーダーシップ, チームワーク。	自己の役割の理解, 忍耐力, 前向きに考える力, 主体的な行動力, 自己の動機付け, ストレスマネジメント。	情報の収集・理解・選択・処理, 課題発見, 計画立案, 実行力, 評価・改善。	学ぶこと・働くことの目的・意義・役割の理解, 多様な生き方に関する理解, 将来設計, 選択, 行動, 改善。

各教科・科目におけるキャリア教育	
国語	言語活動をとおして伝え合う力を高めるとともに, 思考力を伸ばし心情を豊かにし, 言語感覚を磨き言語文化に対する関心を深める。
地歴	国際社会に主体的に生きる民主的平和的な国家・社会の一員としての必要な自覚と資質を養う。
公民	広い視野に立ち現代社会について主体的に考察させ, 理解を深めさせるとともに, 人間としての在り方・生き方についての自覚を育てる。
数学	数学的活動をとおして, 創造性の基礎を養うとともに, 事象を数学的に考察し処理する能力を高める。
理科	自然に対する関心や探究心を高め, 観察実験を行い, 科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事象・現象について理解を深め, 科学的な自然観を育成する。
保健	心と体を一体として捉え, 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。健康の保持増進の実践力の育成と体力の向上を図り, 明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動をとおして, 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに, 感性を高め, 芸術の諸能力を伸ばし, 豊かな情操を養う。
外国語	外国語をとおして, 言語や文化に対する理解を深め, コミュニケーションに対する積極的な態度の育成と, 相手の意向の理解力や自分の意向の表現力を養う。
家庭	家族・家庭・社会の意義や関わりについて理解するとともに, 生活に必要な知識と技術を習得させ, 男女が協力して家庭や地域の生活を創造する力と実践的な態度を育てる。
商業	現代社会における商業への興味関心を深め, その意義や役割を理解するとともに, 社会への発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

各学年（年次）の重点目標	
1 学年	1. 基本的な生活習慣を身に付けさせ, 玉島商業高校生としての自覚を持たせる。 2. 基礎学力を充実させ, 学習意欲を向上させる。 3. 資格取得に挑戦させることによって, 進路設計の土台を築くことができるように取り組ませる。
2 学年	1. 中堅学年として玉島商業高校を牽引していける生徒を育成する。 2. 各コースに分かれの専門科目の学習を深めていき, 上級検定に積極的に取り組ませる。 3. 進路に関する情報を自ら探究していくことで, 就職・進学への具体的な方向性を見つけさせていく。
3 学年	1. 最高学年としての立場を自覚させ, 進路を自らの意志で決定させる。 2. 専門科目の学習の充実を図る。 3. ビジネス社会のルールやマナーを身に付けさせる。

進路指導
○ 将来を見据えたキャリア教育を充実させ, 進路実現ができる力を育成する。 1. 生徒自らの力による, 個性を生かした進路実現 2. 自己理解や社会理解の促進 3. 職業観・勤労観の育成

生徒指導
1. 基本的な生活習慣の確立と人間力の育成 2. 校則や社会のルールといった当たり前のことが, 当たり前に行える生徒の育成 3. 生徒の主体性の伸長と, 学校行事や部活動への積極的な参加

家庭・地域との連携
1. 企業の人事担当者や卒業生・保護者など, 地域の人材を活用し, 職業意識の高揚を図るとともに, 社会人としての基礎力や自覚を育成する。 2. 地域の施設設備を活用し, 地場産業に触れるとともに, インターンシップ等を通じて, 地域貢献や就業意識の高揚を目指す。

総合的な探究の時間におけるキャリア教育
【2 学年】 ・進路探究 ・小論文・自己PR文作成指導 ・インターンシップ（※） ・玉島研究（フィールドワーク） ・進路ガイダンス 【3 年生】 ・課題研究（代替） （観光とサービス・産業と社会・デジタル探究・キャリア探究 グローバル人材の育成・SDG s）

特別活動におけるキャリア教育
【LHR活動】 ・F祭(体育祭・文化祭)準備 ・修学旅行準備 ・人権教育LHR ・進路指導LHR ・進路ガイダンス 【学校行事】 ・式典(始業式入学式終業式卒業式) ・全校朝礼・弁論大会 ・修学旅行・球技大会・芸術鑑賞 ・卒業生の声を聞く会 ・進路体験発表会 ・オープンスクール ・防災避難訓練 【生徒会活動】 ・新入生歓迎会 ・F祭(体育祭・文化祭)